

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 11 日

評価対象事業		評価者	ごみ減量対策課 担当課長 内海 春信		
環境-04	重点事業	ごみ資源化事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	ごみ減量対策課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	廃棄物を適正に処理し、循環型社会の形成を目指すため。
効果	ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・資源物やごみを品目別に分別し資源化を図った。 ・今泉クリーンセンターに配備した自走式コンベアごみ投入機により搬入物検査を実施するとともに、事業系ごみの廃棄物発生抑制等啓発指導員により、事業者訪問等を行い、事業系ごみの適正な分別が図れるよう、指導を行った。 ・市民及び事業者から排出された植木剪定材を、委託業者の中間処理施設まで運搬し、委託業者の堆肥化事業場において堆肥化し、生成した堆肥を市民及び市内農家に配布した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考	
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数		
人口等のデータ	人 口	176,869人	176,466人	176,466人	人 口	176,308人	176,308人	・各年3月31日 (住民基本台帳)	
	世 帯 数	80,928世帯	81,150世帯	81,150世帯	世 帯 数	81,763世帯	81,763世帯		
	事業の対象者数				事業の対象者数				
	運営資源状況	決算値(千円)	776,859	672,318	672,318	当初予算(千円)	738,614	738,614	
		国県支出金				国県支出金			
		地方債				地方債			
その他		429,049	342,275	342,275	その他	329,104	329,104		
一般財源		347,810	330,043	330,043	一般財源	409,510	409,510		
事業経費運営	人員配置数	4.5	4.5	4.5	人員配置数	4.5	4.5		
	人件費(千円)	34,500	34,700	34,700	人件費(千円)	35,321	35,321		
	総事業費(千円)	811,359	707,018	707,018	総事業費(千円)	773,935	773,935		
	市民1人当りの経費(円)	4,587	4,007	4,007	市民1人当りの経費(円)	4,390	4,390		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	入札の実施や新規業者の開拓、事業の効率化などにより、予算規模の縮小を目指しているが、適正な資源化を実行するためには一定程度の費用が必要であり、安易な価格軽減策は採用できない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する					

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>・ごみの資源化業務の費用については、入札の実施や新規業者の開拓、事業の効率化などにより見直しを図っているが、資源化品目は拡大傾向にあるため、事業費の削減は難しいとした。</p>
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	・名越クリーンセンターの平成29年度の年間ごみ焼却量31,038トンを達成すること。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	・事業系ごみの分別徹底を図るため、廃棄物発生抑制等啓発指導員により事業所へ減量・資源化についての訪問指導や啓発などを行った。新たな資源化施策として、容器包装プラスチックの可燃残さの資源化を平成29年9月から、製品プラスチックと布類については、平成29年10月から対象品目の一部拡大を実施し、更なる資源化を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・名越クリーンセンターの平成30年度の年間ごみ焼却量29,896トンを達成する。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	1人当たりのごみ排出量(平成28年度 ※国報告数値)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	1016g	888g	804g	897g	999g	896g	974g	848g	972g	

比較事項	リサイクル率(平成28年度 ※国報告数値)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	47.5%	28.9%	23.4%	24.9%	23.4%	32.5%	43.7%	47.6%	29.0%	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	人口1人当たりのごみ排出量は県内で4番目に多いが、リサイクル率は高く、47.5%のリサイクル率は県内で2番目となっている。引き続きごみの発生抑制を推進し、排出量の削減を図る。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	ごみの焼却量の削減					単位	トン	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	達成率は目標値/実績値とした		
平成26年度末に今泉クリーンセンターが焼却を停止したため、焼却量の削減は安定的で着実なごみ処理体制の構築に必要である。	目標値	30,721.0	29,923.0	32,273.0	31,038.0	29,896.0				
	実績値	37,284.0	34,882.0	36,383.6	30,852.0					
	達成率	82.4%	85.8%	88.7%	100.6%					
指標の内容	リサイクル率の向上					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	達成率は実績値/目標値とした		
リサイクルをすすめることで循環型社会を構築し、焼却量の削減を図るため。	目標値	50.0	50.0	50.3	50.6	50.9				
	実績値	48.2	48.4	47.2	47.5					
	達成率	96.4%	96.8%	93.8%	93.9%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成27年3月に今泉クリーンセンターが稼働を停止したことで、市全体の焼却許容量が減少したため、更にごみの減量・資源化施策を推進し、焼却量を削減していく必要がある。リサイクル率は、人口規模10万人以上50万人未満の全国の市でトップレベルの高い数値を維持しており、引き続きリサイクル率の上昇を目指す。
-----------------------	--